



# シングルセル及び空間解析新製品セミナー 10x Genomics

日時：8月24日(木)・午後5:00~6:00

場所：基礎3号館1階セミナー室とZoomのハイブリット開催です。

ご質問のある方は出来る限り教室にお越しください。

<https://10xgenomics.zoom.us/j/95008702186?pwd=c0hZTUd2SjZPaDc2bVdKRURrY2VGUT09>

ミーティングID: 950 0870 2186

パスコード: 552869

## 手術検体など組織からの新しいシングルセル解析

10x Genomics社より新発売されたFlex kitは、より高感度でより多様な組織タイプに適用できるように設計されました。

従来のシングルセル解析では、生きた新鮮な細胞を準備する必要があり、手術検体など組織からのシングルセル解析には多くの困難が伴いました。従来手法ではまずコラゲナーゼ処理で組織を細胞に分散したのち、セルソーターなどで死細胞除去、そしてシングルセル実験へと一気に進む必要がありました。その際に弱い細胞は失われるため、組織に応じて最適な細胞分散方法を追求する必要があり、これには多くのトライアンドエラーを繰り返す必要がありました。またどうしても死んでしまうポピュレーションは見る事ができませんでした。

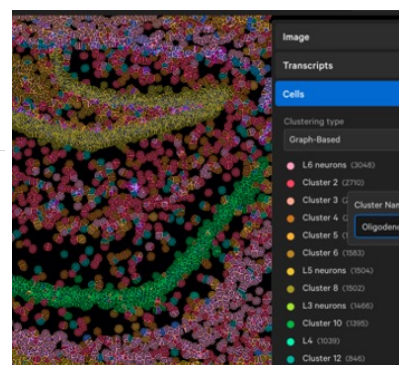
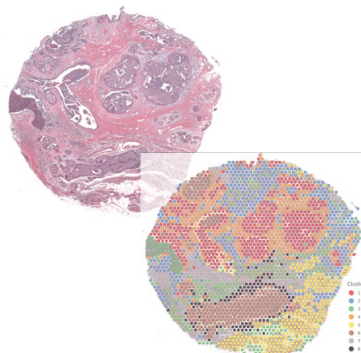
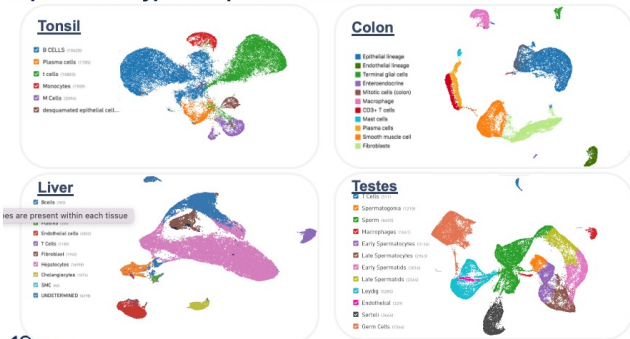
新製品のFlex Kitはこの問題を解決します。

このキットは組織を固定してmRNAを安定化させてから細胞を分散する事が可能です。この結果、今まで生きたままの細胞分散が困難だった組織からも、特定のポピュレーションを落とす事なくシングルセル解析が可能となります。また、解析したいサンプルを液体窒素で凍結保存する事もできますので、すぐにサンプル処理が出来ない場合でもまずは保存し、時間のある時にシングルセル実験に進むことができます。また従来の手法と比べて安価になりました。

本セミナーでは具体的なデータを交えながら新しいシングルセル解析をお伝えします。

その他、最新の空間発現解析、Visiumやシングルセルレゾリューションを空間解析で実現するXeniumについてもご紹介させていただきます。

Expected cell types are present within each tissue



お問い合わせ

10X Genomics  
Territory Sales Manager 金澤 秀明  
hideaki.kanazawa@10xgenomics.com

主催

解剖学講座 顕微解剖・生体形成部門  
教授 嶋 雄一  
e-mail: [yshima@kurume-u.ac.jp](mailto:yshima@kurume-u.ac.jp)  
内線: 3153